

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	1	2	1	土地利用	良好な景観形成の推進
実施計画事業名					
景観計画推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	09	景観推進事務費	
担当課・係等					
都市計画課計画係					

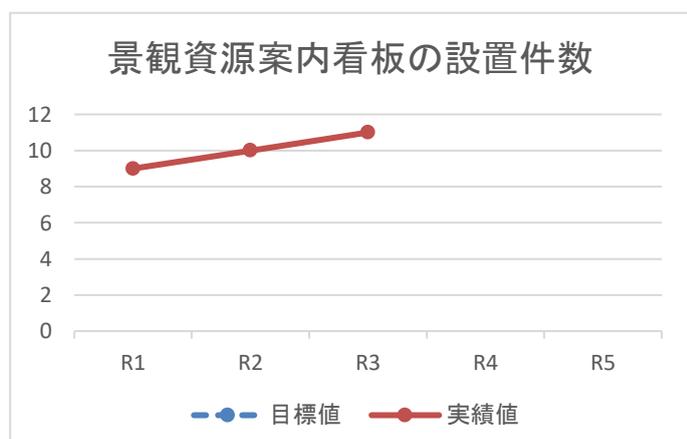
実施計画整理番号	
501020101	
総合戦略整理番号	32102 32306

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	本市の景観が、憩い、潤い、安らぎ、趣きがあるふるさと景観として、市民をはじめ多くの人に知ってもらい、愛着がもてる状態を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源52箇所について、市民に関心を高めてもらうために案内看板を積極的に設置していく。 ・「茂原市わが街ガイド」を活用し景観資源の情報を発信する。 ・茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
景観資源の案内看板等による情報発信や景観資源バスツアーを開催することで、市民の本市への愛着を醸成させ、ひいては施策「良好な景観形成の推進」に寄与していく。		

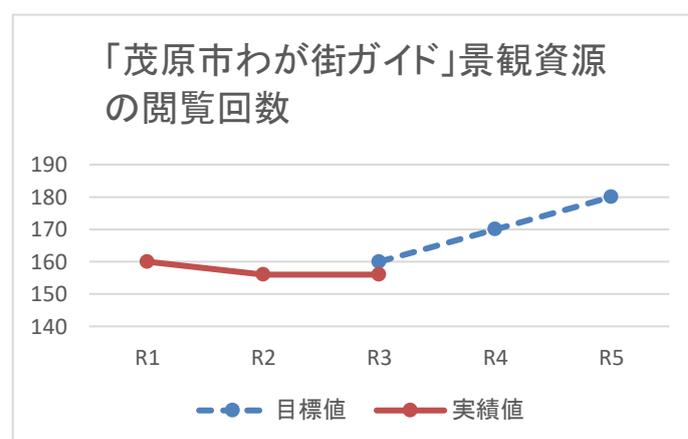
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	298	298	194	298				
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	298	298	194	298					
	人工数	人		1.2							
	人件費	千円		9,075							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
景観資源案内看板の設置や「茂原市わが街ガイド」の景観資源マップを活用し、本市の魅力を発信する。	景観資源案内看板の設置件数(累計)	件数	目標値 増加を目指します 実績値 10	増加を目指します 11	増加を目指します	増加を目指します
	「茂原市わが街ガイド」を活用した景観資源の情報発信(更新回数)	回数	目標値 実績値		10	10
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
景観資源の存在を市民に広め、関心を高めようとともに、ふるさと景観として愛着を持ってもらう状態を目指す。	「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数	回数	目標値 実績値 156	160 156	170	180

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	1	2	1	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観推進事務費

整理番号
501020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・第5次茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働のもと、景観資源案内看板の設置箇所やデザイン等について協議し、本納橋樹神社に設置した。その結果、52箇所中11箇所が設置済みとなった。 ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源マップで本市の魅力の周知に努めた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板の効果や地権者の承諾を考慮すると、設置箇所数が約20あり、設置を順次進めていく必要がある。 ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数を増やすための方策を考える必要がある。 ・景観資源52箇所は、第2次茂原市都市計画マスタープラン(平成21年11月～平成24年10月)において選定されたが、選定当時と現在の状況が異なっているものが数箇所あることから、見直しを行う必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板について、設置の効果検証や地権者の意向把握が必要である。 ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数を増やすために、市広報・ウェブサイト・フェイスブック等を活用し周知を図る。 ・第6次茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議(令和5年度設置予定)において景観資源52箇所を見直すとともに景観資源マップやポスターの修正を行う。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	市民等の本市への愛着心の醸成を目的とした事業だが、現状では成果について判断できないため今後は、景観資源案内看板設置の効果検証や「茂原市わが街ガイド」景観資源の閲覧回数増加のための取組等を検討・実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	1	3	1	土地利用	地籍の適正管理
実施計画事業名					
地籍調査事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	12	地籍調査事務費	
担当課・係等					
土木管理課・用地管理係					

実施計画整理番号
501030101
総合戦略 整理番号

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>行政区画面積から土地区画整理事業実施区域を除いた約90km²の約18万筆の土地について、地籍簿・地籍図を作成することで、土地境界をめぐるトラブルの未然防止、各種公共事業の効率化、災害復旧の迅速化、課税の適正化等が図られる。</p>	<p>一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を市内10工区に分け、計画的に実施する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>地籍調査に取り組み、土地の所有者等を調査するとともに、測量の実施することにより、境界及び面積の確定に努め、ひいては施策「地籍の適正管理」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	15	15	15	15					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	15	15	15	15					
	人工数	人		0.25							
	人件費	千円		1,891							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地籍調査実施に向けた関係機関協議を行う。						
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内の約90万㎡、約18万筆の土地の地籍簿・地籍図を作成することで、土地境界をめぐるトラブルの未然防止、各種公共事業の効率化、災害復旧の迅速化、課税の適正化等が図られる。						
		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	1	3	1	地籍調査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事務費

整理番号
501030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県国土調査推進協議会負担金を納入した。 ・今後の見通しを含め、財政当局と協議を行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・長生郡内では、茂原市以外の町村は、地籍調査を開始し、着実に進めている。 ・財政協議では、市財政の現状を把握する。 ・国、県の動向を注視していく。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するため、少しでも早く事業に着手出来るよう、国、県の動向を注視していく。 	
企画政策課の評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>地籍の適正管理に資する事業と判断できるが、事業期間が長期に渡り、事業費も相当額必要なことから、他の事業との優先順位を考慮し今後の方向性を検討する必要がある。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	2	1	1	市街地整備	秩序ある市街地整備の推進
実施計画事業名					
茂原駅前通り地区土地区画整理事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	
担当課・係等					
都市整備課区画整理係					

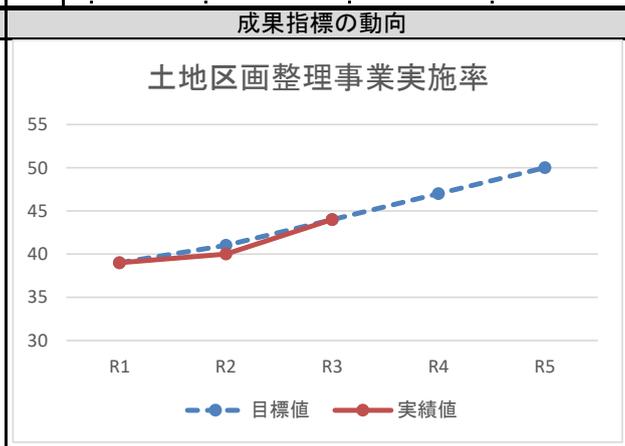
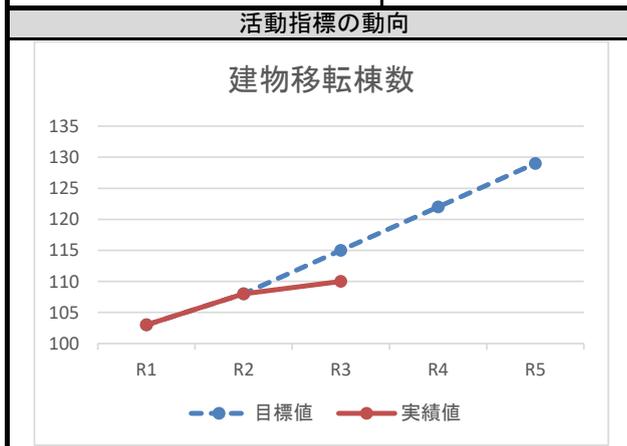
実施計画整理番号	502010101
総合戦略整理番号	

事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境及び住環境の整備を継続的に進めることで市街地の活性化が図られることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。 ・権利者と良好な関係を築き、移転補償や道路整備を円滑に進める。 ・集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査・研究を進める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

茂原駅前通り地区土地区画整理事業を進めることで、中心市街地としての商業・業務環境の整備による商店街の活性化と安全で快適な住環境の形成を図り、ひいては施策「秩序ある市街地整備の推進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	389,617	391,832	313,967	100,000					
	国補助	千円	120,250	119,250	75,189	20,200					
	県補助	千円									
	市債	千円	217,500	218,400	187,700	58,300					
	その他	千円									
	一般財源	千円	51,867	54,182	51,078	21,500					
	人工数	人	3.1								
	人件費	千円	23,445								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
地権者に対し丁寧な説明に努め、建物等の移転補償を円滑に進めていく。	建物移転棟数	棟	目標値	108	115	122	129
			実績値	108	110		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
			目標値	41	44	47	50
公共施設の整備改善と宅地の再編成を行うことにより商店街の活性化と住環境整備を図る。	土地区画整理事業実施率	%	実績値	40	44		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	2	1	1	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

整理番号
502010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・建物等の補償契約を5件締結し、2棟の建物移転を完了させた。 ・まちづくり推進協議会代議員総会を実施し、権利者に対して事業の状況説明を実施した。 ・土地区画整理事業による、今後のまちづくりを考えるため、地権者等を対象にアンケート調査を実施した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>本事業は、施行面積10.7ha、総事業費160億円、施行期間は平成4年度から令和13年度としている。平成5年3月の事業計画決定とともに着手し、平成7年度から早期完成を目指し建物移転や道路築造工事等の推進に努めてきた。進捗率は、29年を経過した現在、総事業費に対し、44.3%であり事業の更なる長期化が懸念される状況となっている。また、地権者からは長期化している状況に対する不満等も多いことから、早期完成に努める。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域内の主要道路である都市計画道路を優先的に整備することで、土地利用の活性化を図る。 ・交付金や起債を活用し、予算の確保に努める。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>住環境の改善と商店街の活性化に資する事業と認められる。引き続き、関係者と連携し計画的な進捗を図るとともに、確実な歳入確保及びより効率的・効果的な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	1	1	総合交通体系	道路網の整備
実施計画事業名					
茂原長柄スマートIC周辺整備事業					

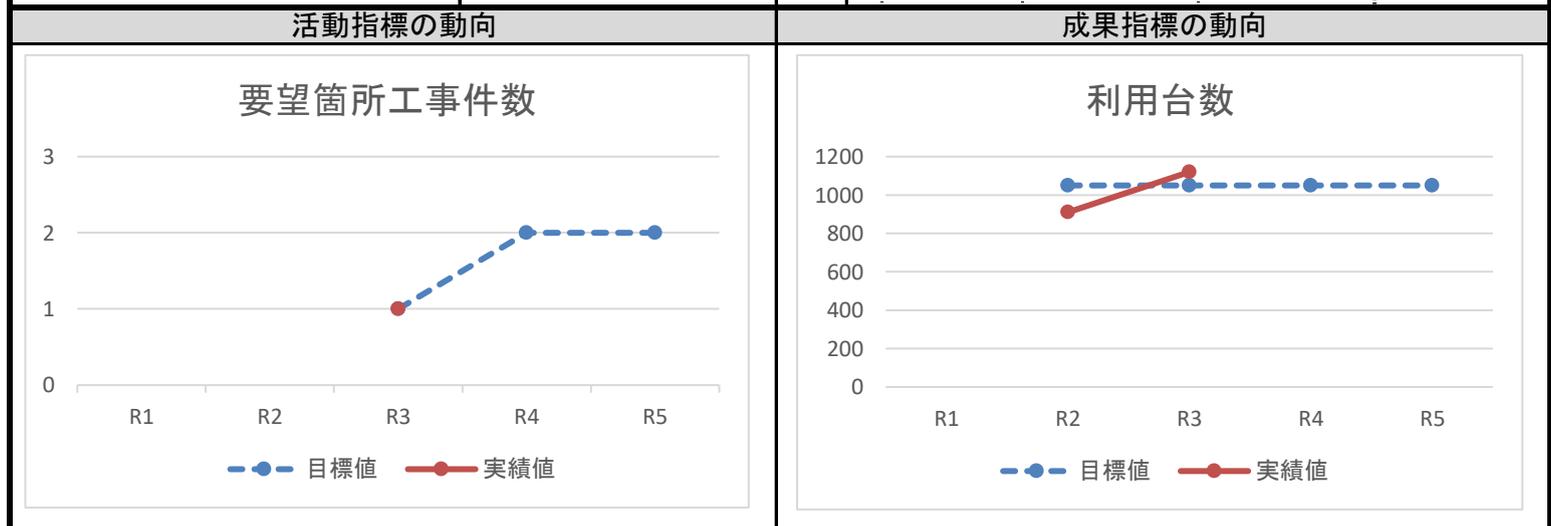
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	03	03	茂原長柄スマートIC周辺整備事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

実施計画整理番号	
503010101	
総合戦略整理番号	42201

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図り、土地利用の推進を図る。	茂原長柄スマートIC周辺の整備を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図ることにより、土地利用の推進につながり、ひいては施策「道路網の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,100	1,100	1,089	9,020					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円				6,500					
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,100	1,100	1,089	2,520					
	人工数	人		1							
	人件費	千円		7,563							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原長柄スマートIC周辺整備事業を進める。	要望箇所工事件数	件	目標値	1	2	2
			実績値	1		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
			茂原長柄スマートIC周辺を整備することで、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図る。	茂原長柄スマートIC利用台数	台/日	1,050
			実績値	910	1120	



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	3	1	1	茂原長柄スマートIC周辺整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	茂原長柄スマートIC周辺整備事業

整理番号
503010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標としていた市道3級4221号線において防護柵工事を実施した。 ・茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性が向上した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降、他の路線の整備を早急に完了させるためには、事業費増による対策が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を再度見直し、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
スマートIC周辺の整備を実施することで、安全性・利便性の向上に資する事業と認められる。引き続き、財源の確保を図るとともに、より効果的な手法で事業実施を進め、土地利用の推進につながるよう努めていきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	1	2	総合交通体系	道路網の整備
実施計画事業名					
都市計画道路整備事業					

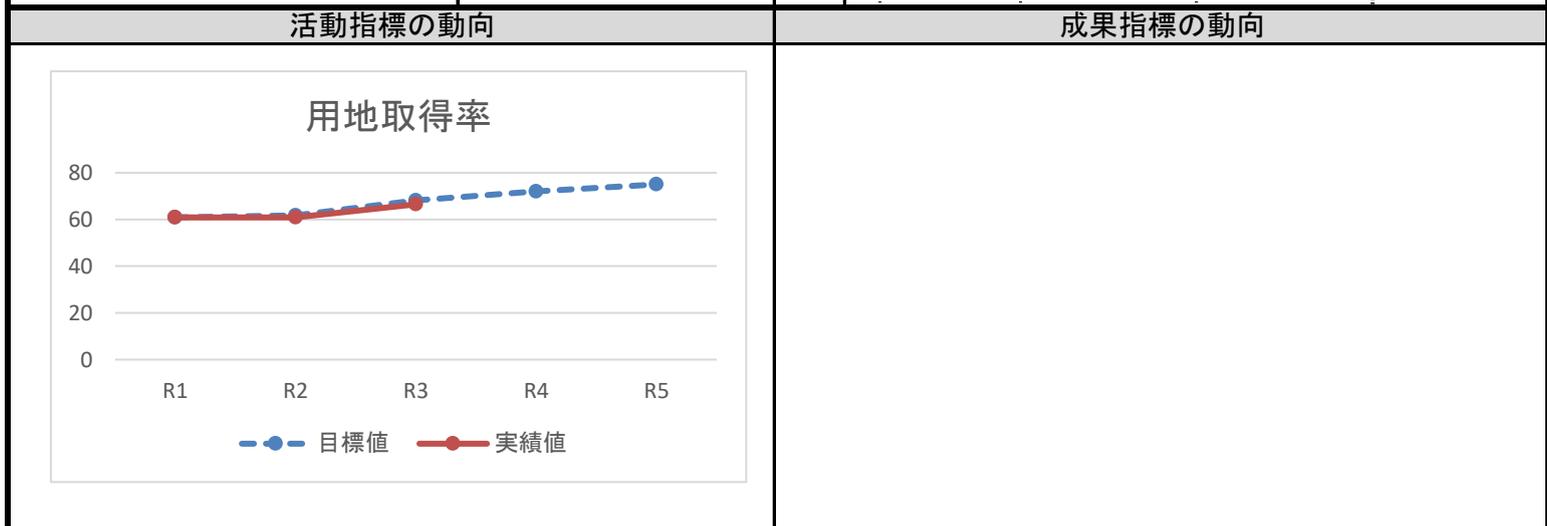
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	02	01	街路事業費	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

実施計画整理番号	
503010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 都市計画道路「桑原八千代線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、補助幹線道路網の整備をすることで、利便性の向上および交通の円滑化を図る。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	JR茂原駅を挟んだ南北道路(桑原八千代線、小林浜町線)を整備する事により、JR茂原駅周辺に不要な通過交通を引き込まない事につながり、ひいては施策「道路網の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	60,891	194,613	142,812	103,000					
	国補助	千円	16,303	82,231	61,552	38,500					
	県補助	千円									
	市債	千円	40,000	100,400	72,400	58,000					
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,588	11,982	8,860	6,500					
	人工数	人	2.1								
	人件費	千円	15,882								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
街路事業用地を取得し、都市計画道路を整備する。	用地取得率 (桑原八千代線)	m ²	目標値	61.7	68.1	72	75
			実績値	60.9	66.5		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
事業の早期完成を目指すことで、利便性の向上および交通の円滑化を図る。	事業の早期完成により利便性向上および交通が円滑化	%					



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	3	1	2	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

整理番号
503010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・桑原八千代線【継続地区】において、長年用地交渉をしていた箇所が取得できたため、道路改良工事に着手する事ができた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・用地交渉が不調となり、事業の進捗を遅らせることとなった。 ・用地交渉に多大な時間を要する為、事業認可時の計画通りに実施できない状況である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・用地交渉には時間を要するため、前年度から早期に交渉にあたり、事業用地の協力依頼を行う。 ・交付金を活用するなど、財源の確保に努め、予算の確保に努める。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>利用者の利便性向上に資する事業と認められる。引き続き、関係者の協力を得ながら、早期完成のためより効率的な事業実施に努めていた だきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	3	2	総合交通体系	バス輸送の整備
実施計画事業名					
地域公共交通事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
0	30	11	1	地域公共交通事業	
担当課・係等					
都市計画課交通政策係					

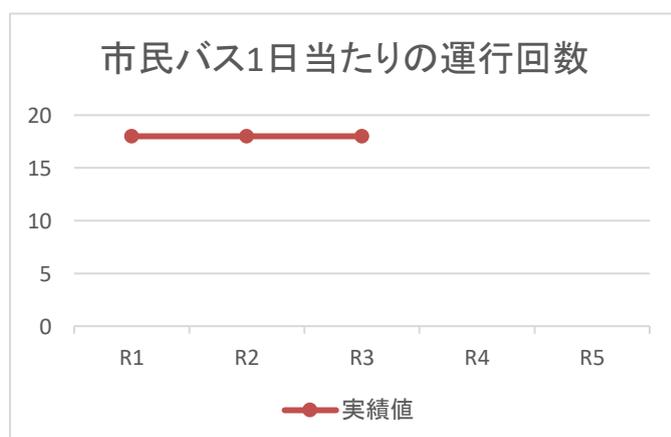
実施計画整理番号	
503030201	
総合戦略整理番号	42102

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 交通空白地域の解消及び学生や高齢者等の交通弱者また通勤利用者の利便性が向上することを目指す。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 地域公共交通を維持するため、路線バスへの補助金交付、市民バス(定時定路線型)及びデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)の運行により交通手段の確保を図る。また、茂原市地域公共交通会議において、関係事業者等と協議し地域に即した輸送サービスの実現を目指す。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者に、必要な移動手段を確保するとともに、民間路線バス、鉄道、タクシーと相互連携した持続可能な地域公共交通の構築を目指し、ひいては施策「バス輸送の整備」に寄与する。	

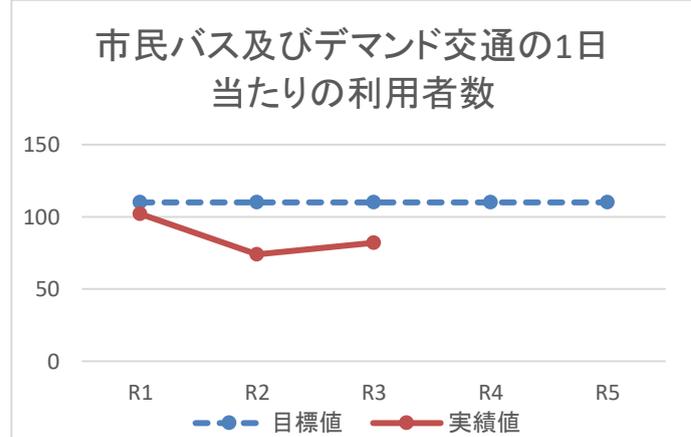
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	31,510	31,510	30,494	41,178					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	9,011	9,011	9,745	12,998					
	一般財源	千円	22,499	22,499	20,749	28,180					
	人工数	人		0.7							
	人件費	千円		5,294							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地域公共交通を維持するため、路線バス事業者へ補助金を交付する。また、地域に即した交通手段の確保を図るため、茂原市地域公共交通会議において関係事業者等と協議を行い、市民バス及びデマンド交通の運行を行う。	市民バス1日当たりの運行回数	便	目標値	維持します	維持します	維持します
		実績値	18	18		
	デマンド交通の1日当たりの運行回数	便	目標値	維持します	維持します	維持します
		実績値	8	8		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学生や高齢者等の交通弱者並びに通勤利用者の交通手段を確保し、交通空白地域の解消を図る。	市民バス及びデマンド交通の1日当たりの利用者数	人	目標値	110	110	110
		実績値	74	82		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	3	3	2	地域公共交通事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
0	30	11	1	地域公共交通事業

整理番号
503030201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通(市民バス等)の運行については、事業者には運行業務を委託し、市民バス及びデマンド交通の運行を行った。また、市民バスの新たな停留所を1箇所設置した。 ・地域公共交通会議の運営については、6月と12月の2回実施した。 ・路線バス運行補助金については、路線バス事業者及び近隣町村との協定書に基づき、3路線に対する補助金を交付した。 ・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対する要望活動を実施するため、同期成同盟に負担金を支出した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通(市民バス等)の運行については、乗降場所の追加など、利用者のさらなる利便性向上を図る必要がある。 ・地域公共交通会議の運営については、必要に応じて開催回数を増やすことも検討する。 ・路線バス運行補助金については、補助路線及び補助金額について、路線バス事業者及び近隣市町村と協議する必要がある。 ・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対して効果的な要望を実施する必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通(市民バス等)の運行については、市民のニーズの把握に努め、地域公共交通会議において十分に協議する。 ・地域公共交通会議の運営については、議題に応じて適切に会議を開催・運営する。 ・路線バス運行補助金については、合理的な積算方法により、適切な補助金の交付を行う。 ・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対する要望事項を精査する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>交通弱者等の利便性を向上させるとともに交通空白地域の解消に資する事業と認められる。引き続き、関係機関と連携を図り、市民等の利便性向上に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	3	1	下水道等	浄化槽対策の推進
実施計画事業名					
合併処理浄化槽設置促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	07	02	浄化槽対策事業	
担当課・係等					
環境保全課環境対策係					

実施計画整理番号	505030101
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	公共用水域の水質汚濁防止のため、公共下水道事業計画の認可区域・農業集落排水事業採択区域を除く区域において、合併処理浄化槽への転換設置を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単独処理浄化槽及びびくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換設置する市民に対し、補助金を交付する。 ・市公式ウェブサイトや広報等により維持管理の徹底や生活排水対策について周知する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

公共下水道・農業集落排水以外の区域における生活排水対策として、合併処理浄化槽への転換を促進する必要がある。合併処理浄化槽への転換には多額の費用を要するため、補助金交付により転換の促進を図り、施策「浄化槽対策の推進」に寄与する。

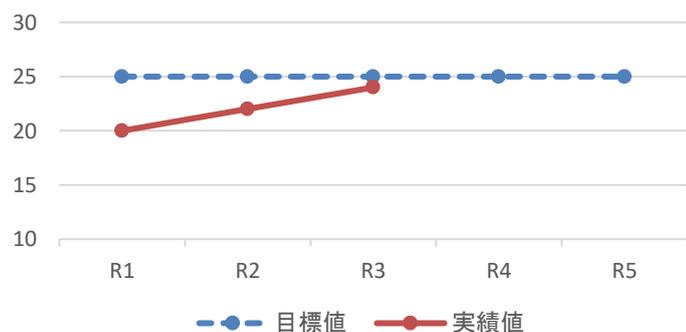
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	15,284	15,284	14,250	15,371					
	国補助	千円	3,548	3,548	3,416	3,593					
	県補助	千円	5,868	5,868	5,416	5,883					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,868	5,868	5,418	5,895					
	人工数	人		1.00							
	人件費	千円		7,563							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
公共下水道・農業集落排水以外の区域において、トイレや台所、ふろ場などすべての生活排水を処理する合併処理浄化槽へ転換設置する市民に補助金を交付する。	合併処理浄化槽転換補助基数	基	目標値 25	25	25	25
			実績値 22	24		
成果	成果指標	人	目標値 75	75	75	75
			実績値 66	72		

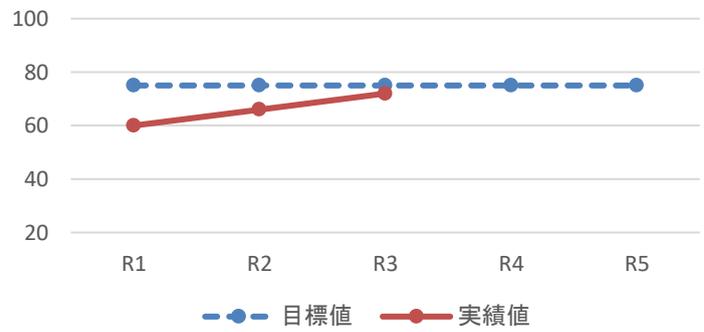
活動指標の動向

成果指標の動向

合併処理浄化槽転換補助基数



水質汚濁防止が図られた処理人口



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	5	3	1	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

整理番号
505030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・単独処理浄化槽22件、くみ取り便槽2件、合計24件について、合併処理浄化槽への転換設置を補助した。</p> <p>・広報や市公式ウェブサイト等を通して、補助制度の周知を図るとともに、浄化槽の適正な維持管理、家庭における生活排水対策について啓発を図った。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・公共下水道・農業集落排水以外の区域において、まだ多くの家庭で単独処理浄化槽やくみ取り便槽を使用しているものと推測されるため、合併処理浄化槽への転換補助を継続していく必要がある。</p> <p>・補助制度の利用促進を図るため、引き続き周知を図る必要がある。</p> <p>・既設浄化槽を適正に機能させるため、適正な維持管理について引き続き啓発を図る必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・合併処理浄化槽への転換補助、補助制度の周知、浄化槽の適正な維持管理について啓発を図ること で、公共下水道・農業集落排水以外の区域における生活排水対策に一定の成果を挙げているため、引き続き事業の推進を図る。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>本事業は公共用水域の水質汚濁防止に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、補助制度の利用促進のため、より効果的な周知に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	4	1	下水道等	排水の適正処理
実施計画事業名					
排水整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	02	02	排水整備事業	
担当課・係等					
土木建設課 河川整備係					

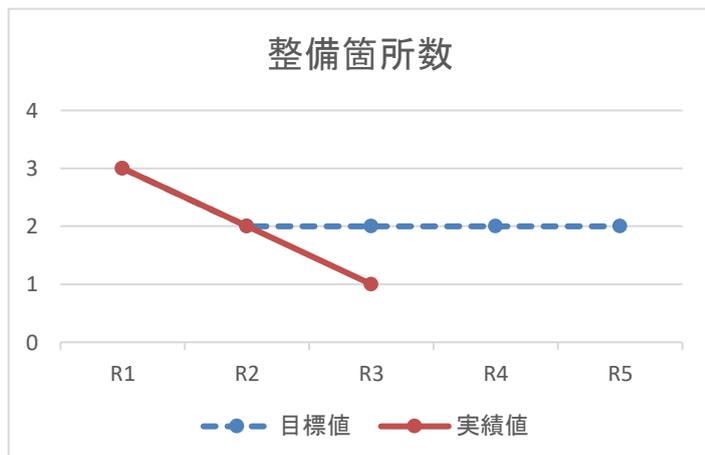
実施計画整理番号	
505040101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 幹線排水路及び生活排水路を計画的に整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備を図る。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備を進める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	近年の気候変動に伴い、大雨が激甚化、頻発化していることから、幹線排水路及び生活排水路を整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備が図られ、ひいては施策「排水の適正処理」に寄与する。	

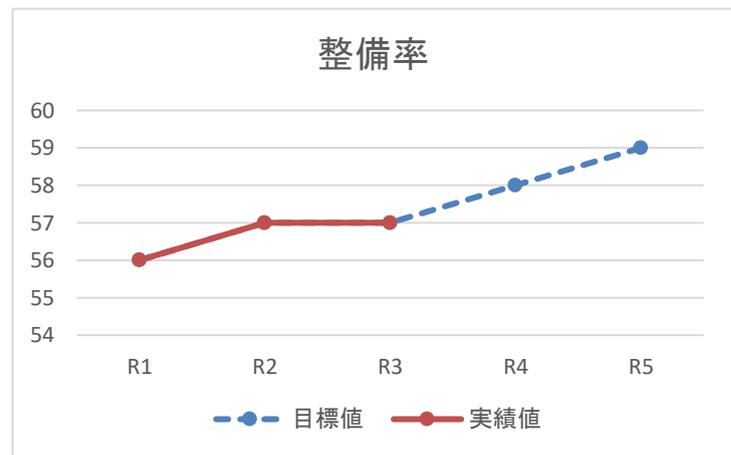
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	18,007	18,007	16,814	20,000					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	13,500	13,500	12,600	15,000					
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,507	4,507	4,214	5,000					
	人工数	人	0.96								
	人件費	千円	5,701,560								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
幹線排水路及び生活排水路の整備	排水路整備	箇所	目標値	2	2	2	2	
			実績値	2	1			
				目標値				
				実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
排水不良の解消及び住環境の整備	整備率 (着手箇所/要望箇所)	%	目標値	57	57	58	59	
			実績値	57	57			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	5	4	1	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

整理番号
505040101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・小林地先の排水整備工事を実施した。延長L=80m ・上茂原地先の排水路詳細設計及び測量を実施した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・近年の大雨の激甚化、頻発化への対策並びに、地元からの多くの要望に対応できない状況である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・選択と集中による、より効率的な排水路整備に取り組む必要がある。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p>
排水不良の解消及び住環境の整備に資する事業と認められる。引き続き、優先順位を考慮し適切な事業実施に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	4	1	下水道等	排水の適正処理
実施計画事業名					
道路排水整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	03	02	道路排水新設事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

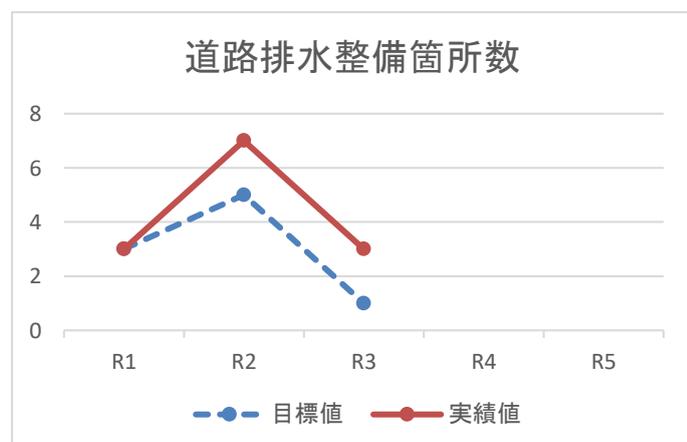
実施計画整理番号	505040102
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路排水不良箇所の整備を行うことにより、道路利用者の安全性を確保する。	道路排水整備工事の実施。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
道路排水施設を整備する事により、市民の生活環境を保全することと、豪雨等への対策につながり、ひいては施策「排水の適正処理」に寄与する。		

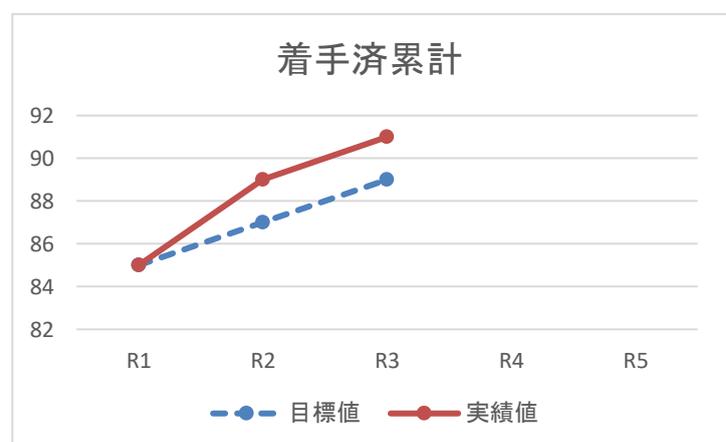
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	5,500	5,500	5,498	7,700					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円				5,700					
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,500	5,500	5,498	2,000					
	人工数	人		1.2							
	人件費	千円		9,076							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路排水施設を整備する事により、市民の生活環境の保全に努め、豪雨等への対策に努める。	道路排水整備箇所数	箇所	目標値	5	1	
			実績値	7	3	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
			目標値	87	89	
道路排水整備事業を進め、道路利用者の安全性を確保する。	着手済累計	箇所	実績値	89	91	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	5	4	1	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路排水新設事業

整理番号
505040102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・市道3級6051号線他2路線の道路排水新設工事を実施したことで、目標としていた箇所以上の整備が実施できた。</p> <p>・道路排水新設整備工事を進めることで、市民の生活環境を保全することと、豪雨等への対策につながり、排水不良地区の解消となった。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>指標の達成状況からも計画どおり事業が進捗しており、道路利用者の安全性の確保が図られていると認められる。引き続き、優先順位を考慮し適切な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	6	1	1	公園・緑地	公園の整備
実施計画事業名					
都市公園等維持補修事業					

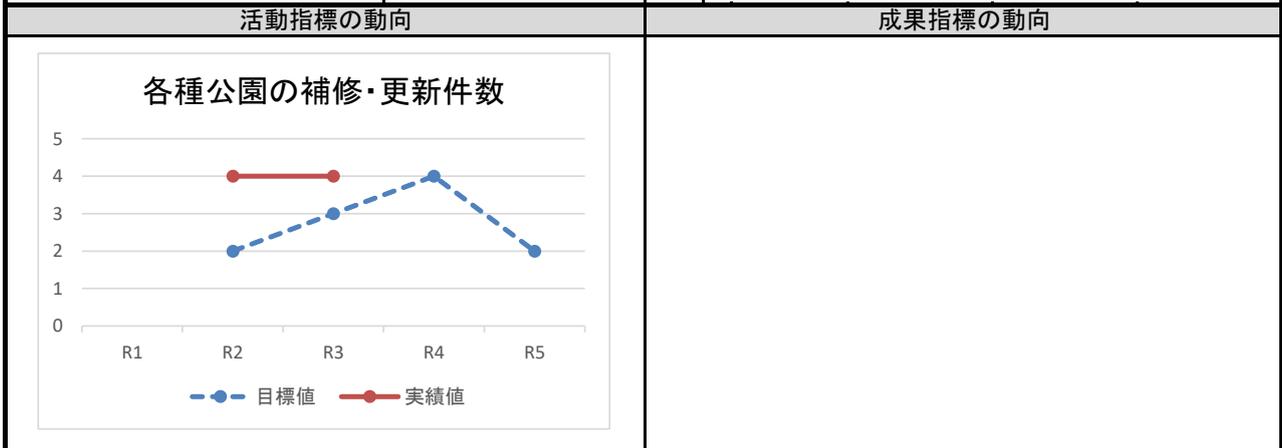
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	03	01	都市公園等維持管理費	
担当課・係等					
都市整備課公園緑地係					

実施計画整理番号	
506010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	公園内の遊具・施設について、適切に補修・更新することで、子供たちが楽しく、安心して遊べる公園とする。	老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
各公園の施設の老朽化が顕著であるため、計画的な整備をすすめることで、施策「公園の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,856	4,333	4,333	2,461					
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,856	4,333	4,333	2,461					
人工数	人		0.1								
人件費	千円		756								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
施設点検に努め、適切な維持管理を行う。	公園施設の補修・更新	件	2	3	4	2
		目標値	4	4		
	実績値					
	目標値					
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
適切な維持管理を行うことで、安全に利用できる公園にする。	公園を安全利用できるようになる	件				
		目標値				
実績値						



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	6	1	1	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	01	都市公園等維持管理費

整理番号
506010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・中の島公園、緑町B公園、緑町C公園の公園灯LED化工事を実施した。 ・茂原公園複合遊具修繕を実施した。 ・富士見公園漏水管改修工事を実施した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・安全性を求められる公園施設の補修について速やかに対応できた。 ・利用者が安全に利用できる公園維持のため、計画的な維持管理が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心の向上を再度見直し、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、整備方法を検討する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	利用者の安全・安心な公園利用に資する事業と認められる。引き続き、歳入確保に努めながら、優先順位を考慮しながら計画的な事業実施を進めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	6	1	1	公園・緑地	公園の整備
実施計画事業名					
茂原公園再生事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	03	05	茂原公園再生事業	
担当課・係等					
都市整備課公園緑地係					

実施計画整理番号	
506010102	
総合戦略整理番号	32103

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、魅力ある誰もが利用しやすい公園として整備することで利用者の増加につなげる。	弁天湖の護岸をはじめ公園内の施設や桜の樹勢回復などの環境整備を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
老朽化が進む茂原公園では、公園利用者の安全確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から、茂原公園施設等長寿命化計画に基づき施設ごとの適切な維持管理を実施することで、施策「公園の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	92,284	92,284	90,145						
	国補助	千円	45,115	45,115	44,000						
	県補助	千円									
	市債	千円	40,600	40,600	39,600						
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,569	6,569	6,545						
	人工数	人		0.4							
人件費	千円		3,025								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
公園整備を推進させ、外科治療・再治療を継続的に実施し、樹勢回復に努める。	茂原公園工事の件数	件		1	1	4
	茂原公園サクラの外科治療・再治療本数	本	43	14		
目標	適切に実施します 適切に実施します 適切に実施します 適切に実施します					
実績値						
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原公園の利用者の増加につなげる	観光地としての魅力が向上する					
目標値						
実績値						



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	6	1	1	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

整理番号
506010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・茂原公園弁天湖護岸改修工事を実施した。
- ・サクラの外科再治療14本を実施した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

日本さくらの名所100選として、さくらの魅力の再生や知名度の向上を図るため、さくらの外科再治療の成果は得られていると考える。しかし、茂原公園再生計画における観光地としての魅力向上や多世代の来園者の増大につなげるためには、ハード整備による環境を整えることが必要不可欠であるとする。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

交付金を活用するなど、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。

企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	公園利用者の安全確保及び利用者の増加に資する事業と認められる。引き続き、歳入の確保を図るとともに、計画的な事業実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	1	1	住宅環境	市営住宅施策の推進
実施計画事業名					
市営住宅長寿命化事業					

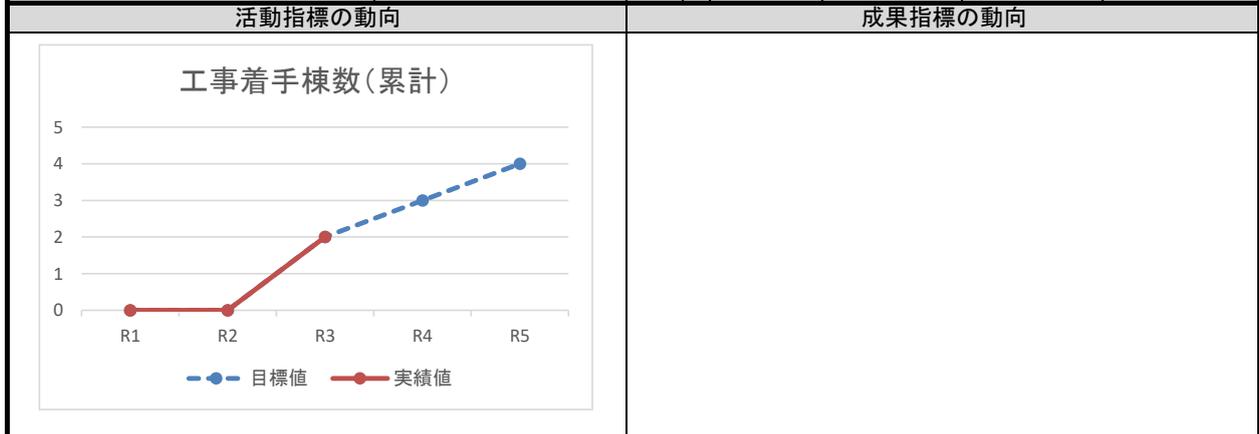
予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅長寿命化事業
担当課・係等				
建築課市営住宅管理係				

実施計画整理番号	
507010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
事務事業の概要 (PLAN)	<p>市営住宅長寿命化計画に基づき、ストック活用する中層住宅は、計画的な改善工事を実施し、効率的な管理、運営を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに入居者の利便性の向上を目指す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.長谷住宅2号棟 改善工事の実施 2.長谷住宅3号棟 改善工事の実施 3.上茂原西住宅1号棟 改善工事設計業務、移転先住宅修繕の実施 4.上茂原西住宅1号棟 改善工事の実施 5.八幡原住宅1号棟 改善工事設計業務の実施
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>中層住宅の計画的な改善工事は、ライフサイクルコストの縮減、及び耐久性、居住性の向上につながり、施策「市営住宅施策の推進」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	182,474	182,474	158,375	171,939					
	国補助	千円	64,955	64,955	63,271	47,246					
	県補助	千円									
	市債	千円	111,100	111,100	89,400	117,800					
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,419	6,419	5,704	6,893					
	人工数	人		0.65							
	人件費	千円		4,916							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>茂原市市営住宅長寿命化計画に基づき、中層住宅における改善工事の設計、工事、監理を計画的に実施する。また、それに伴う入居者移転等の対応を行う。</p>	改善工事の着手棟数(累計)	棟	0	2	3	4
		実績値	0	2		
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>改善工事を実施することにより、市営住宅の長寿命化の推進及び入居者の利便性の向上が図られる。</p>						
	目標値					
実績値						



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	7	1	1	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅長寿命化事業

整理番号
507010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・市営長谷住宅2号棟改善工事及び3号棟外部改善工事について、2か年に渡る工事請負契約を締結し、初年度の工事を実施した。2号棟・3号棟ともに屋上防水、外壁塗装工事を行い、2号棟については内部工事にも着手している。</p> <p>・市営上茂原西住宅においては、設計業務委託を実施し、次年度の工事実施に向け準備を行った。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・市営長谷住宅2号棟においては、令和4年度に工事が完了することから、家賃の設定や募集方法等を検討する必要がある。</p> <p>・市営上茂原西住宅1号棟においては、内部工事を今後実施するために、現在入居している住民の移転が必要となる。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・市営長谷住宅2号棟については、法令に基づく適正な家賃計算を行い、入居者の募集方法については、広報やホームページにて周知する。</p> <p>・市営上茂原西住宅1号棟の入居者移転については、丁寧な説明により移転先の希望を把握し、移転先市営住宅の修繕を円滑に行えるよう努める。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>長寿命化計画に基づき計画的な改善工事を実施することで、ライフサイクルコストの縮減及び入居者の利便性の向上に資すると認められる。引き続き、計画的かつ適切な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	1	1	住宅環境	市営住宅施策の推進
実施計画事業名					
市営住宅集約化事業					

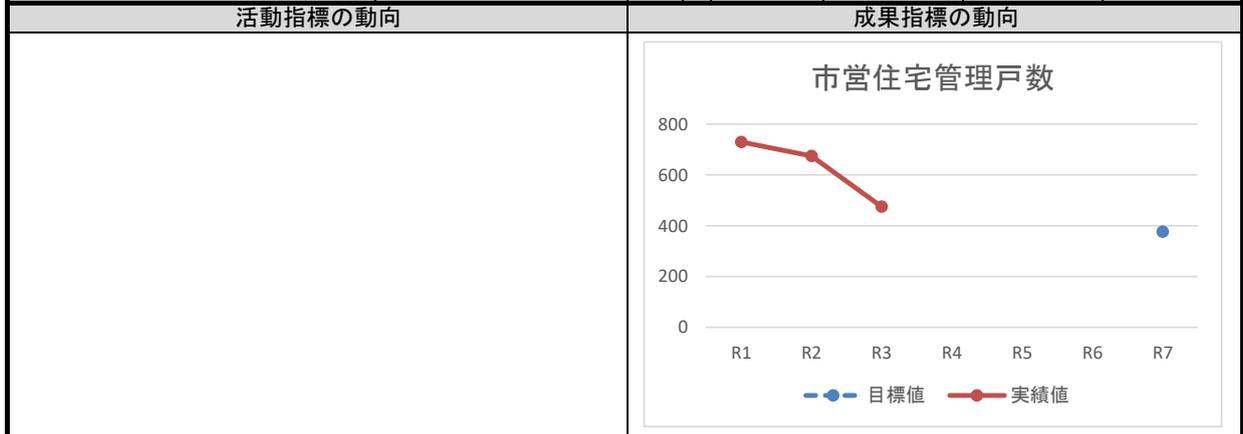
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	4	1	6	市営住宅集約化事業	
担当課・係等					
建築課 市営住宅管理係					

実施計画整理番号	
507010102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市営住宅10住宅、管理戸数730戸のうち、国府関住宅の用途廃止の実施及び長寿命化計画において用途廃止する住宅として位置付けられている真名住宅及び八丁寺住宅について集約化を図ることにより、維持管理費等の経費削減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の移転が完了した国府関住宅については、用途廃止及び住宅用地の売却を行う。 真名住宅は、入居者の移転を進めるとともに、跡地活用の検討、用地測量、土地所有者説明会を行う。 八丁寺住宅は、入居者説明会を実施し、移転事業を進める準備を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	茂原市市営住宅長寿命化計画に基づく計画的な集約化の推進及び効率的な管理・運営を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減が図られ、ひいては施策「市営住宅施策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円		274	274						
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
	一般財源	千円		274	274						
	人工数	人		0.02							
	人件費	千円		152							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
長寿命化計画に基づき、用途廃止に位置付けられている市営住宅の集約化を図る。		目標値					
			実績値				
		目標値					
			実績値				
成果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
集約化の推進及び効率的な管理・運営によりライフサイクルコストの縮減が図られる。	市営住宅管理戸数 ※令和7年度までに管理戸数376戸を目標値とする。		目標値	-	-	-	-
			実績値	675	475		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	7	1	1	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	4	1	6	市営住宅集約化事業

整理番号
507010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・令和2年度に真名市営住宅の2F建入居者16世帯を対象に移転事業を実施したが、うち1世帯が当該年度内に市外の住宅への移転が完了しなかったため、令和3年度へ繰り越しとなり、移転補償金の支出が生じた。 理由: 移転先である市外の住宅修繕が完了しなかったため。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・市営真名住宅の集約化のため、残り23世帯の移転を早期に完了させ、跡地利用に向けて、条件整備を進めていく。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を抑制する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・市営真名住宅の集約化に伴い、所管課にて明確な跡地利用計画と売却方針等を示すとともに、担当課による、残り23世帯の移転事業や、境界確定における用地測量等を実施していくことが必要である。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>市営住宅の計画的な集約化の推進及び効率的な管理・運営を行うことは、ライフサイクルコストの縮減につながる事業と認められる。引き続き、関係各課との協議を図りながら、計画的な事業実施に努めていきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	2	1	住宅環境	住宅環境の整備促進
実施計画事業名					
木造住宅耐震化事業					

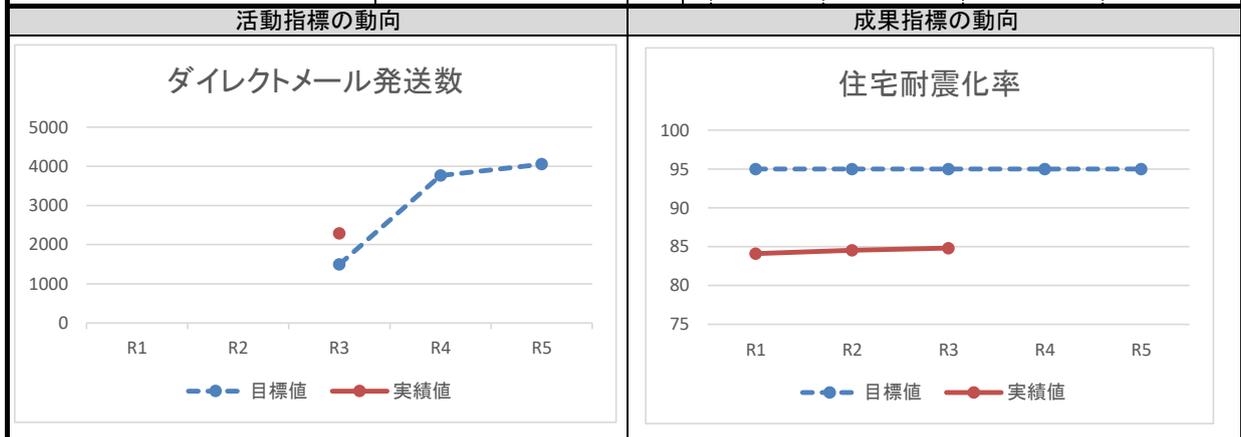
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業	
担当課・係等					
建築課審査指導係					

実施計画整理番号	
507020101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	耐震診断及び改修等に係る費用の一部を補助することで、耐震性の低い住宅の改善を促進し、施策「住宅環境の整備促進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	17,460	16,976	2,822	6,519					
	国補助	千円	8,329	8,329	1,258	3,059					
	県補助	千円	3,314	3,314	380	1,229					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,817	5,333	1,184	2,231					
	人工数	人		0.9							
	人件費	千円		6,807							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
建築士事務所協会に耐震診断士の派遣を委託し耐震相談を行い、診断等に要する費用の一部を補助することで耐震化の促進を図っている。併せて住宅所有者へのダイレクトメールにより周知・促進に努める。	耐震相談会	回数	7 目標値 3 実績値	7 4	7	7
	ダイレクトメール発送	件数		1,495 2,288	3,764	4,053
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	木造住宅耐震化率の向上	%	95 84.54 目標値 実績値	95 84.82	95	95



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	7	2	1	木造住宅耐震化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

整理番号
507020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・無料情報誌及び新聞広告にて耐震相談会の周知を図り、計4回、延べ18組の相談に対応した。 ・従来の耐震相談会とは別に空き家相談会(耐震相談含む)を実施し、2件の耐震相談を実施した。 ・国及び県の補助金を活用し、耐震診断補助8名、解体補助4名、ブロック塀補助7名に対し補助金を交付した。 ・旧耐震住宅(S56以前)の所有者へ、ダイレクトメールを送付し、市の取組内容の周知啓発と併せ今後の意向調査を実施し、促進を図るべき対象数の実態把握を行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・相談会の参加者が想定より少なかった。要因としてコロナウイルス感染症の影響もあったと思われるが、予約方法も電話のみとなっているのが要因と考えられる。 ・耐震化への関心を高めるよう無料情報誌へ掲載したが、思ったよりも反響がなかった。情報誌では対象の年齢層に乖離があると思われる。 ・ダイレクトメールを建物所有者へ発送したが、宛所不明により返送されるケースがあった。名義変更がされていないケースや実際の管理者が違うことが考えられる。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震相談会は、WEBでの予約など時代に即した対応を図る。 ・情報の発信は、より実効性のあるものに絞り、建物所有者へのダイレクトメールを行うとともに、広告やWEBページを活用し露出を増やすことで建物所有者が情報を得る機会を増加させる。 ・ダイレクトメール未達者に対する再発送を調査・検討するとともに、今後の発送方法についても、所有者及び納税者情報のすり合わせを行い未達防止を図る。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 耐震性の低い木造住宅の耐震性の向上に資する事業と認められる。一方で、成果が伴わないこともあり、現状の課題を解決することで耐震化率の向上と住民の耐震化に対する意識向上につなげていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	3	1	住宅環境	空き家対策の推進
実施計画事業名					
空き家等対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	04	01	05	空家等対策事業	
担当課・係等					
建築課住宅政策係					

実施計画整理番号	
507030101	
総合戦略整理番号	

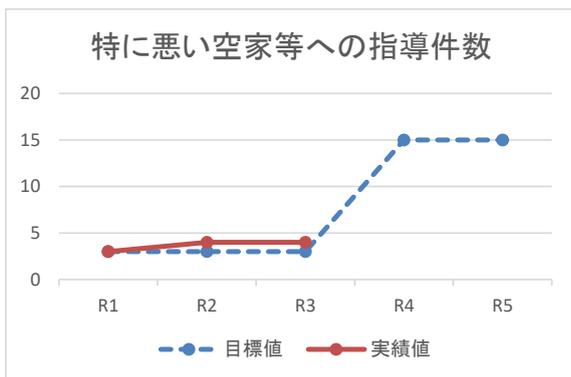
事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等に関する必要な措置を適切に講ずるよう努めることにより、市民の生活の向上と安心を与え、貰える住環境の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策協議会の開催。 ・緊急安全措置の実施。 ・空き家バンク登録物件リフォーム補助の交付。 ・特定空家等への法的措置。 ※緊急安全措置・・・防災上において緊急を要するものに対し安全性の担保や二次被害を起こさないための措置。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

人口減少や核家族化等により空き家の増加に伴い、効率的かつ総合的な空き家対策を講じる必要がある。管理不適正な空家が抱える問題は、多種多様であるため、さまざま施策の充実を図ることで、施策「空き家対策の推進」に寄与する。

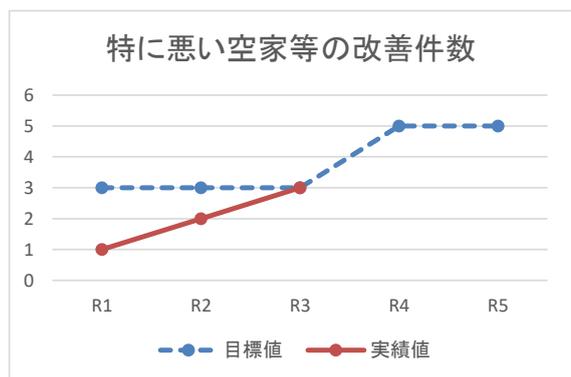
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,139	4,317	3,490	1,400					
財源内訳	国補助	千円		3,150	2,839	500					
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,139	1,167	651	900					
人工数	人		1.35								
人件費	千円		10,210								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
管理不適正で状態が特に悪い空家等の所有者に対し、法令等に基づく指導等を強化する。	状態が特に悪い空家等への指導等件数	戸	3	3	15	15
		目標値	3	3	15	15
		実績値	4	4		
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の生活の向上と安心を与え、も貰える住環境の実現。	状態が特に悪い空家等の改善件数	戸	3	3	5	5
		目標値	3	3	5	5
		実績値	2	3		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	7	3	1	空き家等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	空家等対策事業

整理番号
507030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・空家対策協議会委員とともに、空き家所有者が抱える問題にアドバイスを行うため、空き家相談会をショッピングセンターアスモにて開催し、相談者が20組と盛況であった。また、茂原市空家等対策計画に基づく実施計画を策定した。</p> <p>・空き家バンクへの登録を促すために、補助金を創設した。2月末時点で6件の登録があり昨年度の2件より大幅に増加した。</p> <p>・著しく管理不適正な空家等に対し、特定空家等に認定し、指導を強化している。令和3年度は4件認定し、内1件改善に至った。令和元年度から累計11件認定し、6件改善に結びついている。</p> <p>・千葉大学に「まちの活性化」に資する空き家利活用方策について研究委託した。この研究成果を空き家所有者に発信することで啓発を図った。</p> <p>・GISを活用し、空き家の情報収集・整理を行った。その結果、施策の展開が明確になった。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>・著しく管理不適正な空家等は、特定空家等に認定し、指導、勧告及び命令を経て、最終的に代執行に行き着く。代執行費用は所有者に請求するが、支払えないケースが容易に推測でき、財政負担が大きい。そのような状況にならないための施策の立案が重要である。</p> <p>・千葉大学により空き家の利活用方策の研究成果の実現に向けた施策の立案が重要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・利活用可能な空き家を中古市場に流通する仕組みづくりや地域の居場所として空き家を提供していただける方、地域の居場所として運営していただける方が増加するような施策を展開していく必要がある。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>市民の生活の向上と安心な住環境の実現に資する事業と認められる。引き続き、管理不適正な空家等には指導を実施し、所有者の意識向上を図るとともに、より効率的・効果的な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	1	1	環境保全	ごみ処理の推進
実施計画事業名					
ごみ排出適正化事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

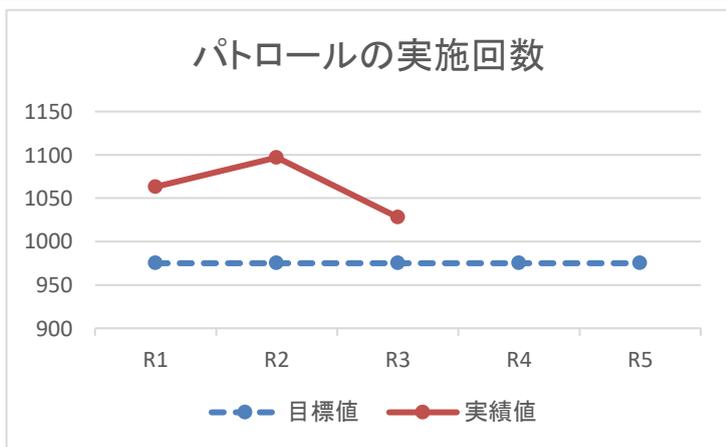
実施計画整理番号	
508010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 不法投棄の未然防止と、不法投棄されたごみの早期適正処理を目標とする。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) ・職員及び不法投棄監視員による随時パトロール ・ごみ集積所表示看板、不法投棄禁止看板の配付 ・千葉県環境衛生促進協議会への参加
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	職員及び不法投棄監視員による市内パトロールの実施、自治会等に「ごみ集積所表示看板」「不法投棄禁止看板」等の配付を行い不法投棄の未然防止を図り、施策「ごみ処理の推進」に寄与する。	

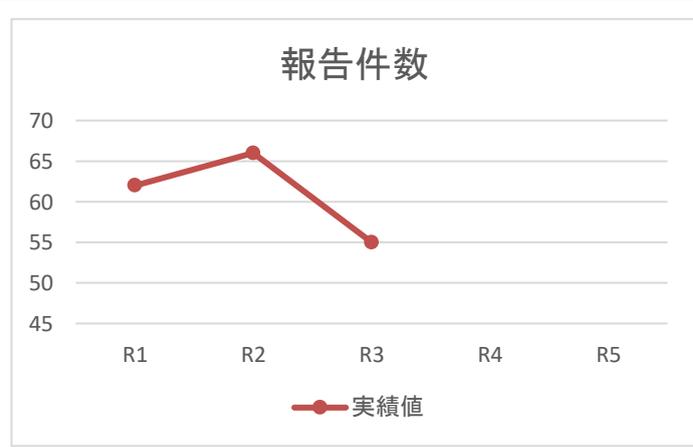
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,168	2,168	1,977	2,257					
	国補助	千円									
	県補助	千円	444	444	444	444					
	市債	千円									
	その他	千円	9	12	12	9					
	一般財源	千円	1,715	1,712	1,521	1,804					
	人工数	人		2.9							
	人件費	千円		17,682							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
不法投棄監視員によるパトロール及びごみ集積所表示看板、不法投棄禁止看板の配付を実施する。	パトロールの実施回数	回	目標値 975	維持します	維持します	維持します
		実績値 1097	1028			
	不法投棄禁止看板の配付数	枚	目標値 103	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
		実績値 105	60			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
不法投棄の未然防止と、不法投棄されたごみの早期適正処理を図る	不法投棄監視員からの不法投棄報告件数	件	目標値 72	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
		実績値 66	55			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	1	1	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

整理番号
508010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・不法投棄監視員によるパトロールの実施回数 1,028回
(内、不法投棄監視員からの不法投棄報告件数 55件)
- ・不法投棄禁止看板の配付数 60枚

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・家電等の小規模な不法投棄は依然として散見されるものの減少傾向にあること、また大規模な不法投棄は発生していないことから一定の成果を挙げているものと考えている。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・引き続き不法投棄監視員によるパトロールの実施及び排出方法の徹底により不法投棄の未然防止を図っていく。
- ・「ごみ集積所表示看板」「不法投棄禁止看板」等を配付する。
- ・ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し排出方法の徹底に努める。

企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>不法投棄の未然防止と不法投棄されたごみの早期適正処理に資する事業と認められる。引き続き、関係機関と連携しながら事業の推進に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	1	3	環境保全	ごみ処理の推進
実施計画事業名					
3R推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	02	01	03	3R推進事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

実施計画整理番号	
508010201	
総合戦略整理番号	

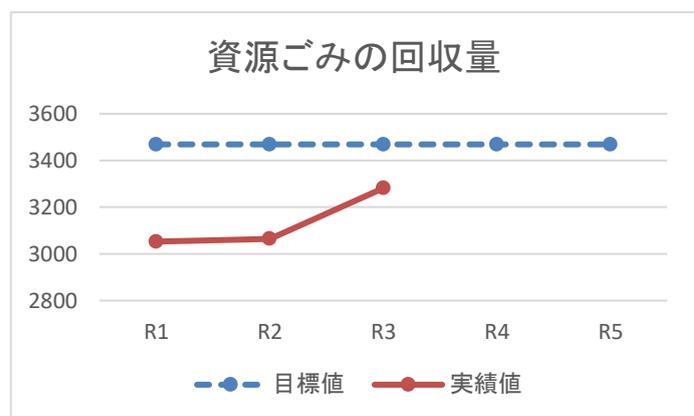
事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
<p>3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。</p> <p>※3R…無駄なごみの発生を抑制する「リデュース(Reduce)」、使えるものは繰り返し使う「リユース(Reuse)」、ごみを資源として再利用する「リサイクル(Recycle)」の3つのRの総称で、リデュース、リユース、リサイクルの優先順位でごみの削減に努めるのが良いという考え方。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進委員会への活動支援 ・市民団体へのリサイクル報償金の交付 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費補助
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>循環型社会の形成を目標とし、3Rの推進及び生ごみの堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機の購入費補助を行うことにより、施策「ごみ処理の推進」に寄与する</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	6,042	6,042	5,360	4,025					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	283	283	290	283					
	一般財源	千円	5,759	5,759	5,070	3,742					
	人工数	人	3.1								
	人件費	千円	19,194								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
リサイクル推進委員会への活動支援、生ごみの堆肥化容器の助成販売及び生ごみ処理機の購入費補助を行う。			目標値				
			実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
			3Rの推進による循環型社会の形成	資源ごみの回収量	t	目標値	3,469
			実績値	3,065	3,281		

活動指標の動向

成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	1	3	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

整理番号
508010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみの回収量 2989.71t ・リサイクル報償金の交付件数 249件 ・リサイクル報償金額 2,198,070円 ・リサイクル推進委員会への助成 1,116千円 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数 107基 ・生ごみ処理機購入費補助件数 20基 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報償金については、開始から30年以上が経過しており事業の目的は達成されたと考える。 ・スーパー等による民間のリサイクル回収ルートが普及したことなどにより、収集量が減少傾向にある。 ・広報紙や市公式ウェブサイト等で生ごみ堆肥化容器の助成販売及び生ごみ処理機購入費補助金の周知を図っているが、更なる普及啓発が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報償金を廃止(令和4年3月31日)し、ごみ集積所の新設及び修理、ネット等の購入費用に対し、補助を行う。(令和4年4月1日より) ・生ごみ堆肥化容器の助成販売及び生ごみ処理機購入費補助金の更なる周知を、広報紙や市公式ウェブサイト等で行う。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 循環型社会の形成に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、より効果的な周知に図るとともに、市民等が環境負荷の軽減をより意識できるような取組や周知内容も検討いただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	1	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
緑化推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	06	02	緑化推進事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

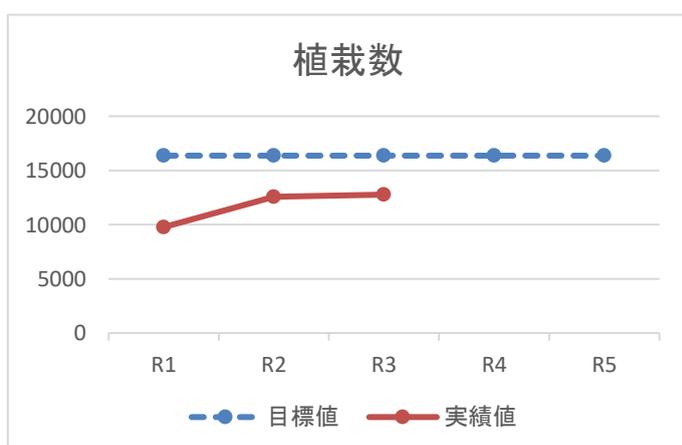
実施計画整理番号	
508020101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設への緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し普及を図ることを目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への緑や花の植栽 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布 ・花いっぱいコンクールの開催 ・花いっぱい運動推進協議会への助成
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	自治会市民団体等へ市の花コスモスの種子の配布や、市内公共施設へ草花の植栽をすることで花いっぱい運動の普及を図ることで、施策「生活環境の整備」に寄与する。	

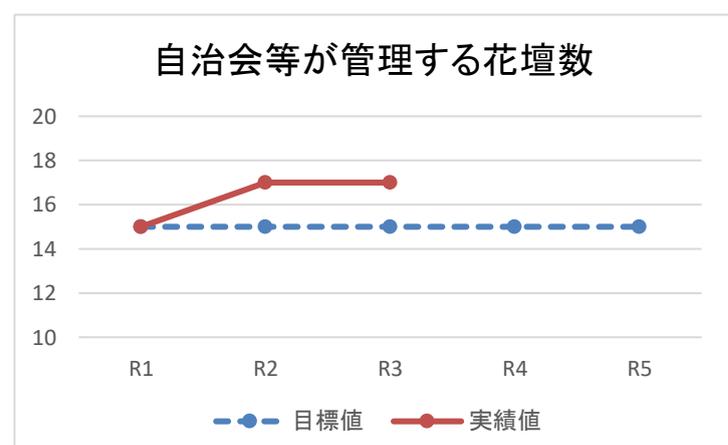
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,140	2,140	2,032	2,032					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,140	2,140	2,032	2,032					
	人工数	人		1.7							
	人件費	千円		7,661							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
緑のある美しいまちづくりを進めるため公共施設への草花の植栽を行うとともに、自治会等にコスモスの種子を配布し、「花いっぱい運動」を展開する。	植栽数	苗	目標値 16,367	維持します	維持します	維持します
		実績値 12,558	12,770			
	配布数	ℓ	目標値 159	維持します	維持します	維持します
		実績値 160	160			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
環境美化への市民意識の醸成を図る	自治会等が管理する花壇数	箇所	目標値 15	維持します	維持します	維持します
		実績値 17	17			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	2	1	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

整理番号
508020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽 12,770苗 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布 160㍁ ・花いっぱいコンクールの開催 26件(個人8名 団体7団体 小学校8校 幼稚園・保育所3団体) ・花いっぱい運動推進協議会への助成 90千円 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動推進協議会主催の「花いっぱいコンクール」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、秋のコンクールを中止した。 ・「花いっぱいコンクール」の新規参加者の増加を図る必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動推進協議会会員による市民への周知、また広報紙等による「花いっぱいコンクール」の更なる啓発に取り組む必要がある。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	環境美化への市民意識の醸成に資する事業と認められる。一方で、市全域で意識の醸成を図ることが今後の課題となるため、より効果的な周知方法や意識啓発できる取組の実施に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	2	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
美化推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	06	01	美化推進事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

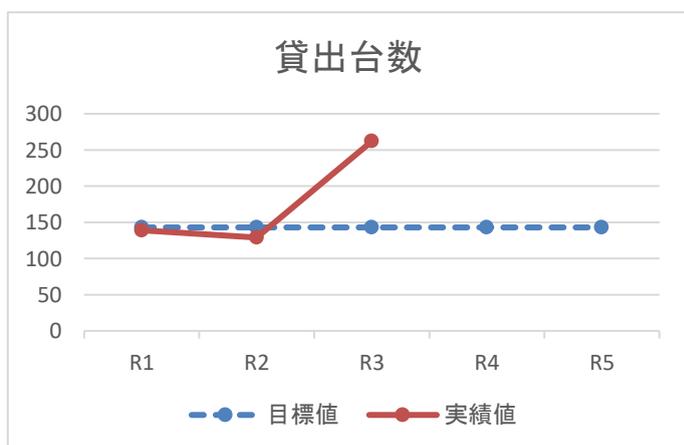
実施計画整理番号	508020201
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して市民の協力のもと美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈機の貸し出し ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動 ゴミゼロ運動の実施
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
自治会や市民団体等による自主的な清掃活動を奨励し、ゴミゼロ運動などのイベントや広報紙などによる啓発の実施、空き地の雑草対策を図ることにより、施策「生活環境の整備」に寄与する。		

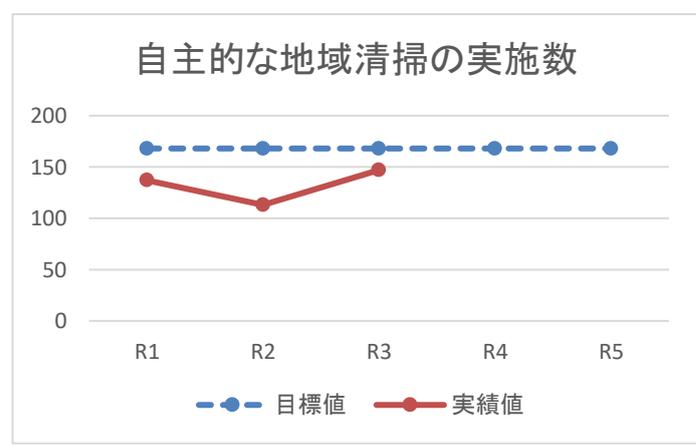
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	942	942	360	929					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	942	942	360	929					
	人工数	人		3.1							
	人件費	千円		15,415							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
自治会等に対し、草刈機の貸し出しを行う。	貸出台数	台	目標値	143	143	143	143
			実績値	129	262		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
							目標値
自治会や市民団体等による、自主的な美化活動を実施することできれいで住みよい環境づくりを進める。	自主的な地域清掃の実施数	回	実績値	113	147		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	2	2	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

整理番号
508020201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・草刈機貸し出し台数 262台 ・地域清掃等の実施数 147回 ・雑草等の除去に関する指導 274件(内205件対処済み:実施率74%) 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、令和3年度『茂原市ゴミゼロ運動』を中止した。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行っているが、未実施のところがある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であるが、実行できる範囲の地域の環境美化活動を推進していく。 ・引き続き、空き地の土地所有者が適正に管理するように、雑草等の除去に関する指導を行う。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
きれいで住みよい環境づくりの推進に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、市民等の美化活動の意識醸成を図るとともに、より効果的な手段についても検討いただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	3	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
害虫防除対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	05	02	害虫防除対策事業	
担当課・係等					
環境保全課 クリーン推進係					

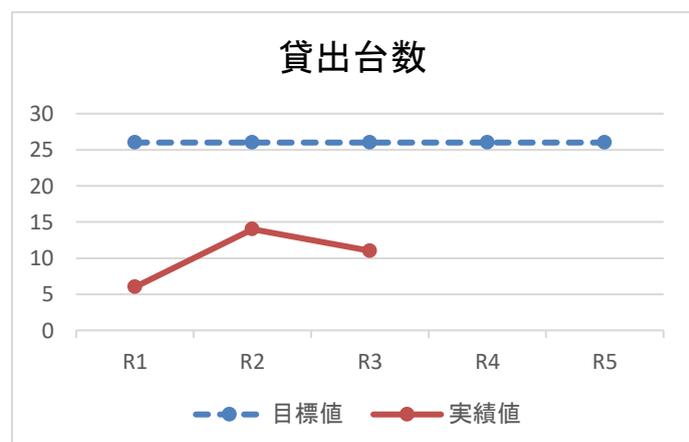
実施計画整理番号	
508020301	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会への消毒機の貸し出しや衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸し出し ・公共施設の蜂の巣駆除
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会への消毒機の貸し出しや衛生指導を行い、害虫の発生を抑制することにより、施策「生活環境の整備」に寄与する。		

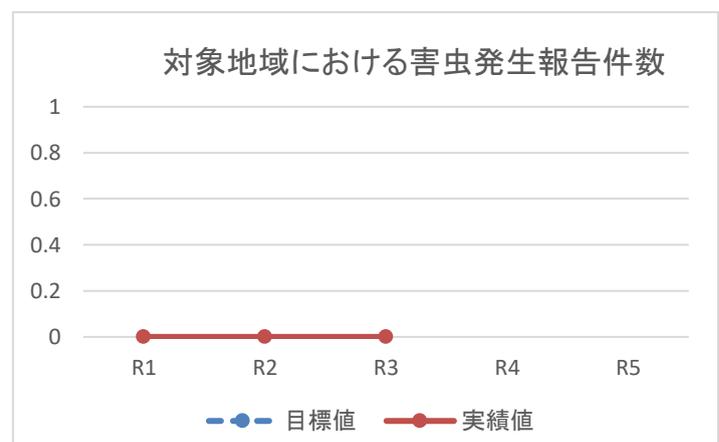
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	861	861	587	509					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	861	861	587	509					
	人工数	人		1.2							
	人件費	千円		7,186							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の消毒作業及び自治会への消毒機の貸し出しを行う	消毒回数	回	目標値: 2	2	2	2
		実績値: 2	2			
	貸出台数	台	目標値: 33	33	33	33
		実績値: 14	11			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生活環境の整備を図るとともに市民等による適正な環境づくりを促進する。	対象地域における害虫発生報告件数	件	目標値: 発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます
		実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	2	3	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

整理番号
508020301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫の消毒回数 2回 ・自治会への消毒機の貸し出し数 延べ11台、4団体 ・害虫発生報告件数 0件 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木は、害虫の発生を抑制し、十分な成果を挙げることができた。 ・自治会に消毒機の貸し出しを行うことで、害虫の発生を抑制し、十分な成果を挙げることができた。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自転車歩行者道路(豊田川)沿いの桜の木の害虫の駆除を実施し、生活環境の保全を図る。 ・引き続き自治会等に消毒機の貸し出しを行うことにより、生活環境の保全に努める。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>成果指標等からも本事業は一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、市域全体で環境意識の向上が図られるよう努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	3	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
環境保全対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	07	01	環境保全対策事業	
担当課・係等					
環境保全課環境対策係					

実施計画整理番号	
508020302	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	水質・騒音や土地の埋立てなどを監視し、諸問題の発生抑制に努めるとともに、公害発生防止のため事業者の自主監視を促進することで、身近な生活環境の保全を図る。	河川や地下水等の水質、主要幹線道路の自動車騒音、土地の埋立ての状況を監視する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	河川や地下水等の水質、道路交通騒音、土地の埋立てなど、身近な生活環境を監視し、諸問題の発生抑制を図ることで、施策「生活環境の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	1,964	1,964	1,495	1,964				
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	1,964	1,964	1,495	1,964					
	人工数	人		1.20							
	人件費	千円		9,076							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度				3年度				4年度				5年度			
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
河川や地下水等の水質、道路交通騒音、土地の埋立ての状況を監視する。			目標値															
			実績値															
諸問題の発生を抑制し、身近な生活環境の保全を図る。	成果指標	単位	目標値															
			実績値															
活動指標の動向									成果指標の動向									

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	2	3	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

整理番号
508020302

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活環境の現況を把握するため、各種調査を実施した。 ・河川水(16ヶ所)は、12ヶ所でBOD環境基準を満たしていた。 ・地下水(20ヶ所)は、環境基準を満たしていた。 ・工場排水(4ヶ所)は、排水基準を満たしていた。 ・道路交通騒音(2ヶ所)は、非近接空間及び近接空間で昼間、夜間ともに環境基準以下であった。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・河川水4ヶ所でBOD環境基準を上回る状況であった。生活排水の影響と考えられるため、引き続き浄化槽対策事業等の推進により、河川の水質保全を図る必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活環境の保全を図るため、監視を継続するとともに、各種調査結果等の周知により環境問題について意識啓発を図る。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">B</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">公害等諸問題の発生の抑制に一定の効果があったと認められる。引き続き、市民等へ各種調査結果等を周知することで環境問題についての意識啓発につなげていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	3	1	環境保全	地球温暖化対策の推進
実施計画事業名					
新エネルギー利活用促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業	
担当課・係等					
環境保全課環境対策係					

実施計画整理番号	
508030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	家庭におけるエネルギーの安定的な供給、エネルギー利用の効率化・最適化を図り、地球温暖化防止に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県の補助基準の範囲内で補助金を交付する。 補助制度の利用促進のための周知を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

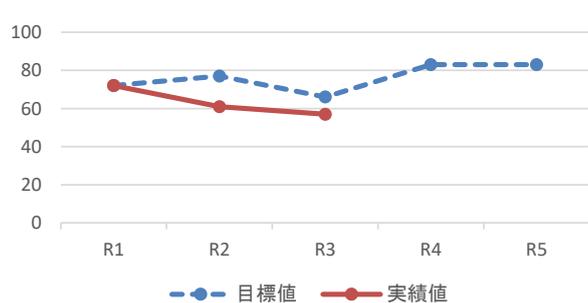
家庭においても省エネの取り組みなど地球温暖化対策を推進する必要がある。補助金の交付により、住宅用省エネルギー設備等の設置を促進し、家庭からの二酸化炭素排出量の抑制を図り、施策「地球温暖化対策の推進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	7,100	7,100	6,235	7,500					
	国補助	千円									
	県補助	千円	5,600	5,600	4,735	6,000					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,500	1,500	1,500	1,500					
	人工数	人	1.00								
	人件費	千円	7,563								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に補助金を交付するとともに、利用促進のための周知を行う。	住宅用省エネルギー設備等の補助件数	件	77	66	83	83	
		実績値	61	57			
成果	成果指標	kg	目標値	105,786	85,711	81,286	81,286
			実績値	68,153	65,657		

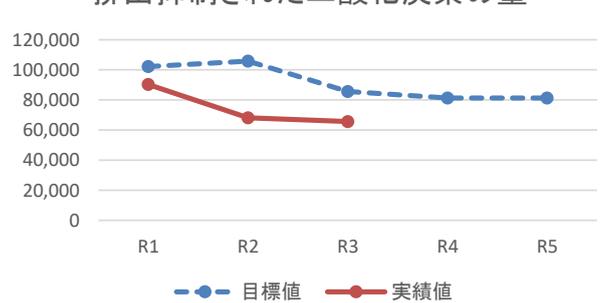
活動指標の動向

住宅用省エネルギー設備等の補助件数



成果指標の動向

排出抑制された二酸化炭素の量



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
5	8	3	1	新エネルギー利活用促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業

整理番号
508030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用省エネルギー設備等の設置について、57件を支援した。 (太陽光発電システム9件、エネファーム15件、リチウム蓄電システム33件) ・住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、市内における二酸化炭素の排出量削減に一定の成果を挙げている。 ・広報や市公式ウェブサイト等を通して、補助制度や家庭でできる地球温暖化対策の取り組みについての周知を図った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用省エネルギー設備等の設置ニーズの増加が見込まれるため、補助を継続していく必要がある。 ・補助制度の利用促進を図るため、引き続き周知を図る必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、設置ニーズを的確に把握するとともに補助を継続していく。 ・引き続き広報と市公式ウェブサイト等により、補助制度の周知を図り、更に事業を推進する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	市民のエネルギー利用の効率化・最適化を促進することで、市内の二酸化炭素の排出量削減に資する事業と認められる。引き続き、補助制度の利用促進のための周知を図るとともに、更なる市民等の地球温暖化防止に対する意識向上に努めていただきたい。